

社会奉仕活動報告		クラブ名(グループ名)	行田ロータリークラブ
1	事業名称	心をかたちに――こころの講演会3回シリーズ	
2	実施期間	平成25年10月24日、11月21日、平成26年2月13日	
3	実施場所	行田ヴェルビィ・アイトピア	
4	事業の内容		
<p>(内容)行田RCは、東日本大震災直後から復興支援事業に取り組んできました。震災と原発事故は他人事ではなく、自分たちにできることは何かを考え、少しでも復興に向けて取り組みたいという思いで公開講演会「心をかたちに――こころの講演会」を企画。東日本大震災遺児教育支援「ロータリー希望の風奨学金」に協賛するもので、大震災と原発事故を風化させてはいけないというメッセージを発信し、募金活動もしました。第1回 平成25年10月24日(木)講師・柘野俊明師(庭園デザイナー・テーマ「枯山水と日本の心」第2回 平成25年11月21日(木)講師・藤川享胤師(2800地区パストガバナー)テーマ「忘れかけている日本の心」第3回 平成26年2月13日(木)講師・玄侑宗久師(芥川賞作家)テーマ「日本人の心のかたち」</p>		継続事業	単年
		参加人数	230名
			内 ローター関係 60名 内 他参加者 170名
		事業費	200万円
		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 主催・ <input type="checkbox"/> 協賛・ <input type="checkbox"/> 後援
<small>           註1. 内容は箇条書きでも可            註2. 事業費は実行または予算(万円)            註3. 事業形態は <input type="checkbox"/> をクリックしてチェックして下さい         </small>			
5	事業の改善すべき点・感想・自己評価		
<p>公開講演会としてチケット3回で3000円徴収したため人数の把握もでき、またロータリー活動を一般の人たちに知らしめたと言う事で公共的イメージアップにつながったと思う。そして、「ロータリーの友」にも公告がされたため、他のロータリークラブの皆さまの来訪を受け、ロータリーの友情の輪が広まった。</p>			
6	記録画像		
			
画像説明	第1回こころの講演会 柘野俊明師	画像説明	第2回 こころの講演会 藤川享胤師
			
画像説明	第3回こころの講演会 玄侑宗久師	画像説明	こころの講演会会場
備考		報告者	福島伸悦

社会奉仕活動報告		クラブ名(グループ名)	行田ロータリークラブ	
1	事業名称	第14回行田・白河児童交流会 ふるさと自慢作文発表会		
2	実施期間	平成26年6月14日(土)		
3	実施場所	行田市内 各所		
4	事業の内容			
<p>行田市と福島県白河市の姉妹都市交流の一環として15年前より始まった行田市立中央小学校と白河市立第一小学校の交流会。今年度は白河市のお友達を行田市へ迎え、レクレーションを通じての交流を深める。また、各々のふるさとを再発見する「ふるさと自慢作文発表会」を開催し、新世代を担う小学生が、この作文発表会を通じ自らの郷土を探求し、歴史・文化・自然・産業等を再発見することにより、『ふるさと』に対して愛着を抱き、未来の街づくりに取り組む意識付けを目的とする。</p>		継続事業	14 年	
		参加人数	129 名	
			内 ローターリ関係 39 名 内 他参加者 90 名	
		事業費	683,373 円	
		実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 主催・ <input type="checkbox"/> 協賛・ <input type="checkbox"/> 後援	
		註1. 内容は箇条書きでも可		
註2. 事業費は実行または予算(万円)				
註3. 事業形態は <input type="checkbox"/> をクリックしてチェックして下さい				
5	事業の改善すべき点・感想・自己評価			
6	記録画像			
				
画像説明	集合写真	画像説明	さきたま史跡の博物館での歴史勉強会	
				
画像説明	親睦を深めたグループでのランチ	画像説明	作文発表	
備考		報告者		